

平成28年度第4回 倫理審査委員会

平成28年9月12日

受付番号28-04 (前回保留分の再審査)

申請者	北4病棟看護師	加藤 佳代子
課題名	「認知症状のある患者の対応における看護師のストレス要因の調査」	
研究の概要	<p>認知症状のある患者が多く、その症状も様々である。患者に合わせた言葉のかけ方や訴えに対して対応する時間が十分に取れずに患者は穏やかに過ごせない状況もある。そのような場面では、看護師の精神的な負担が大きく、多くのストレスを感じながら試行錯誤している。ストレスは、各個人により受け方も様々であると考えられる。性格タイプ別行動パターンによる性格診断をもとに、どのような症状に対しストレスを感じているか調査し明らかにする。</p>	
判定	承認	

受付番号28-05 (前回保留分の再審査)

申請者	北2病棟看護師	青木 明百
課題名	「重症心身障害児(者)病棟における患者急変時に看護師が抱く不安・意識調査～急変時対応の向上に向けて～」	
研究の概要	<p>重症心身障害児(者)病棟では、患者の殆どが体調不良等、自分で訴えることができないうえ、心疾患、痙攣発作を有する患者、人工呼吸器装着患者などは急変リスクを有している。これまで患者の急変は年に1～2件程度でスタッフが急変に対応する機会が少なかったが、病棟で患者の急変が2名続いたことから、急変対応への不安の声が聞かれた。スタッフの不安を軽減し、急変への柔軟な対応に繋げるため、急変時に直面する看護師が抱く不安要因を調査・分析する。</p>	
判定	承認	

受付番号 28 - 09

申請者	西2病棟看護師	掛川 恵子
課題名	「神経難病患者と家族の結びつきを深めるために」	
研究の概要	当院の神経難病病棟には入院期間3年以上の長期入院患者が多い。入院が長引くにつれて家族との面会時間が減少傾向にあると感じられ、病状の進行に伴い、言語的・非言語的コミュニケーションが成立し難くなってきている。そこで「患者便り」を作成し、家族に患者情報を提供することで面会時のコミュニケーションのきっかけ作りに繋げる。	
判定	保留	

受付番号 28 - 10

申請者	呼吸器内科医長	長谷 衣佐乃
課題名	「肺非結核性抗酸菌症の臨床データベース研究（多施設共同研究）」	
研究の概要	肺非結核抗酸菌症の症例について、その画像所見、各種臨床データを後ろ向き解析により、本疾患の病態解明に寄与する。	
判定	承認	

受付番号 28-11

申請者	呼吸器内科医長	長谷 衣佐乃
課題名	「抗IFN γ 抗体陽性肺非結核性抗酸菌症の予後についてのアンケート調査」	
研究の概要	<p>非結核性抗酸菌症は主に肺、皮膚等の感染を起こすが、稀に全身に播種することがある。播種性非結核性抗酸菌症（播種性NTM症）は主にAIDSなど重度の免疫不全患者で報告されていたが、2004年以降免疫不全の既往がない播種性非結核性抗酸菌症（播種性NTM症）の多くに、抗IFNγ中和抗体を認めることがわかり、Adult-onset immunodeficiencyとして知られるようになった。</p> <p>これまで世界で約450例弱の報告があるが、この疾患の臨床像についてはまだ明らかでなく、予後解析を行った報告はない。いつまで治療をするのか、再燃の頻度がどの程度なのかなど不明点が多い。今回、予後解析を行う目的で、総説で対象となった論文著者に対して、アンケート調査を行う。</p>	
判定	承認	